![C:\Users\zenrin\AppData\Local\Microsoft\Windows\Temporary Internet Files\Content.IE5\OYLOII2Q\MC900228485[1].wmf]()園長だより　令和元年１２月号（20191213）　　　　　　　　　　　　　　　園長　平澤　正則

保護者アンケート集計結果考察

　調査の集計結果については先日一足先に配付しましたのですでにおわかりのことと思いますが，本日は私の主観に基づいて感じた主な点について記したいと思います。

１　ハロウィンの衣装については，クリスマス発表会終了後に職員とよく相談しながら（坦任や副担任は保護者の気持ちを園長よりもよく理解していると思っているので）決めていきたいと思います。保護者の皆さんの意見としては各自に任せて欲しいというものが大変多かったので，それに沿った無理のない金額と保護者の哲学に沿ったやり方で来年も進める方向になると思います。

２　観劇や音楽鑑賞については，来年度から実施する方向で進めていきたいと考えます。すでに実施している毎年7月上旬の市民会館での他園との合同でのものの他に，本園内等で新たに実施したいと思います。それに伴い保護者の皆さんには新たな出費が生れますが，ご理解をいただきたいと思います。金額については2,000円前後で今後詰めていきたいと思います。

　　また，ゆき組，ほし組の子どもたち対象で，人気の高い花みちタイムについては実施回数を少し増やしたいと思います。昨年度と本年度は試行ということで園からの補助を多くし園児一人当り3,000円としましたが，来年度は保護者の皆さんのご協力をいただき，一人当り6,000円程度の受益者負担にしたいと思います。

３　私が個人的に重要視している項目は設問7と12でしたが，なぜかというと7番の自信を持たせる保育と，12番の保護者の相談に丁寧に応じる姿勢は子どもを伸ばす保育にはとても大切な要素だと思っているからです。この2つがそれぞれ93％と96％の支持率だったので，まあまあというところなのかと思いますが不支持の方も少数いることから，まだまだ努力をしなければとも思います。教育や保育に王道はありませんし，こうすればいいという絶対的なものもありません。

　子どもたちの成長は親の価値基準や園の先生方の接し方に大きく影響を受けるということを肝に銘じながら日々教育活動を進めていきたいと思います。

４　記述式の設問15（疑問・不安点）では，なるほどと思えた点や普段はできているのに厳しいなあと思ったことなどがあります。しかし，少数でもできていなかったからそのように認識されたのだと思いますので，謙虚に受け止めるべきと職員会議でも共通理解を図りました。

職員共々普段から意識していることは保護者との情報の共有です。保護者からもいろいろと聞き，こちらからもいろいろと伝える，そのようなやりとりは大変重要だと思いますので，今後ともよろしくお願いいたします。

５　設問16（有難い点・続けてほしい点）でも，やはり評価いただけてうれしく思ったことはわかりやすい情報の提供という点でした。また，汚れものの水洗いなどの先生方の行いや認めたりほめたりしながら子どもたちに日々接している努力をわかっていただいていることも私にとってはうれしいことでした。